

令和7年度 危険コンクリートブロック塀等安全対策費補助事業

申請書等記載例

<作成にあたっての注意事項>

- ・ 申請書は、必ず黒ボールペン（消えないペン）で記入してください。
- ・ 申請書に押印する印は、事前相談から交付請求まですべて同じもので押印してください。
- ・ 申請書に該当するチェックボックスに、「✓」マークを入れてください。
- ・ 記入内容の訂正は、訂正箇所を二重線で消し、訂正印を押してください。（修正液、修正テープ等は使用しないでください。）
- ・ 必要な申請書類が、すべて揃っていない場合には、申請の受付ができないことがあります。



申請書の様式は、市ホームページでダウンロードができます。
また、建築指導課窓口でも入手できます。

【お問い合わせ】



習志野市 都市環境部 建築指導課

〒275-8601

習志野市鷺沼二丁目1番1号

電話 047-453-9231

FAX 047-453-7384



習志野市ご当地キャラ ナランド♪

別記 第1号様式(第6条)

(第1面)

習志野市危険コンクリートブロック塀等安全対策費補助金事前相談依頼書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

習志野市長 宛て

住居表示で記入してください。

申請者 住所 習志野市鷺沼2丁目〇番〇〇号
(フリガナ) ナラシノ タロウ
氏 名 習志野 太郎
電話番号 047-〇〇〇-〇〇〇〇

習志野市危険コンクリートブロック塀等安全対策費補助金交付要綱第2条第2号に規定する危険コンクリートブロック塀等に該当し、補助対象事業であるか否かの確認を受けたいので、次のとおり関係書類を添えて依頼します。

コンクリート ブロック塀 等の概要	所在地	習志野市鷺沼2丁目〇〇-〇〇		
	所有形態	☐ 単独 ☒ 共有(2 人) ☐ 管理者		
	高さ	1. 8m	長さ	7. 50m
	築造年代	☐ 年 月築造 ☒ 不明		
	面する道路	☒ 建築基準法第42条 1 項 5 号 ☐ その他()		

地名地番を記入
してください。

※所在地には、危険コンクリートブロック塀等が存する土地の地名地番を記入してください。

(第2面)

安全性確認(耐震診断)状況等

確認項目ごとに安全性基準が適合しているか確認し、結果をチェックしてください。

確認項目		安全性基準	確認結果
☒ コンクリートブロック造 確認日: 令和〇〇年〇〇月〇〇日			
1	塀の構造がコンクリートブロック造の場合にチェックし、以下の確認項目を確認してください。	以下であること。	☒ はい ☐ いいえ
2		こと。ただし、塀の高さが2m超2.2以下の場合は、15cm以上であること。	☒ はい ☐ いいえ
3	控え壁	塀の長さの3.4m以下ごとに、塀の高さの5分の1以上突出した控え壁があること。	☐ はい ☒ いいえ
4	基礎	コンクリート基礎があること。	☒ はい ☐ いいえ
5	健全性	傾きやひび割れ等がないこと。	☐ はい ☒ いいえ
6	鉄筋	塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横ともに80cm間隔以下で配筋されており、縦筋の壁頂部及び基礎の横筋にそれぞれかぎ掛けされていること。	☐ はい ☐ いいえ ☒ 不明
7	根入れ	塀の構造が石造、れんが造の場合のみ確認 の場合にチェックし、以下の確認項目を確認してください。	☐ はい ☐ いいえ ☒ 不明

確認項目		安全性基準	確認結果
☐ 石造、れんが造 確認日: 年 月 日			
1	高さ	地盤面から1.2m以下であること。	☐ はい ☐ いいえ
2	厚さ	塀の高さの10分の1以上の厚さがあること。	☐ はい ☐ いいえ
3	控え壁	塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があること。	☐ はい ☐ いいえ
4	基礎	コンクリート基礎があること。	☐ はい ☐ いいえ
5	健全性	傾きやひび割れ等がないこと。	☐ はい ☐ いいえ
6	根入れ	基礎の根入れの深さは20cm以上あること。	☐ はい ☐ いいえ ☐ 不明

※第2面は、平成30年6月21日付け国住指第1130号において通知された「ブロック塀等の点検のチェックポイント」を基に作成しています。

【参考】平成30年6月21日付け国住指第1130号において通知された「ブロック塀等の点検のチェックポイント」

ブロック塀の点検のチェックポイント



ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。

まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

- ☐ 1. 塀は高すぎないか
・塀の高さは地盤から2.2m以下か。

- ☐ 2. 塀の厚さは十分か
・塀の厚さは10cm以上か。（塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上）

- ☐ 3. 控え壁はあるか。（塀の高さが1.2m超の場合）
・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。

- ☐ 4. 基礎があるか
・コンクリートの基礎があるか。

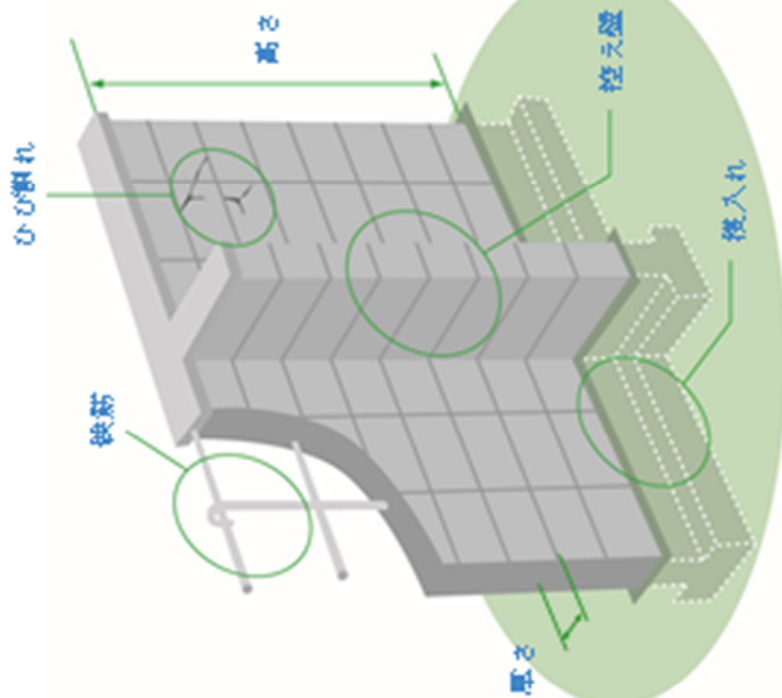
- ☐ 5. 塀は健全か
・塀に傾き、ひび割れはないか。

＜専門家に相談しましょう＞

- ☐ 6. 塀に鉄筋が入っているか

・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも 80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかき掛けされているか。

・基礎の根入れ深さは30cm以上か。（塀の高さが1.2m超の場合）



基礎造（れんが造、石造、鉄筋のないブロック造）の塀の場合
☐ 1. 塀の高さは地盤から1.2m以下か。
☐ 2. 塀の厚さは十分か。
☐ 3. 塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか。
☐ 4. 基礎があるか。
☐ 5. 塀に傾き、ひび割れはないか。
＜専門家に相談しましょう＞
☐ 6. 基礎の根入れ深さは20cm以上か。

出典：
パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会 2013. 1 より一部改

(第3面)

	隣地 隣地 一戸建ての住宅 ±0 隣地 N
現況図	方位、敷地や周囲の状況(建築物の位置、道路・隣地等の別)、撤去するコンクリートブロック塀等、道路の幅員・高低差等を記入してください。 撤去するコンクリートブロック塀等の位置を明示してください。 単位は「mm」を基準にしてください。 高さを記入してください。 単位は「mm」を基準にしてください。 撤去する危険コンクリートブロック塀等の長さを記入してください。(門扉やフェンスは対象外) 道路 -100 5,000 1,800 1,500 5,000 1,000
添付図書	(1) 案内図 (2) 現況写真(道路側及び宅地側から全景を撮影したもの) (3) その他市長が必要と認める書類

備考

- この依頼書は、習志野市危険コンクリートブロック塀等安全対策費補助金交付要綱第2条第2号で規定する危険コンクリートブロック塀等に該当し、補助対象事業であるか否かの確認を受けるためのものです。この相談により補助対象事業に該当すると確認され、補助金の交付の申請をしようとする場合は、別途補助金の交付申請手続が必要となります。

第2号様式(第7条)

(第1面)

習志野市危険コンクリートブロック塀等安全対策費補助金交付申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

習志野市長 宛て

住居表示で記入してください。

申請者 住所 習志野市鷺沼2丁目〇番〇〇号
(フリガナ) ナラシノ タロウ
氏 名 習志野 太郎
電話番号 047-〇〇〇-〇〇〇〇

習志野市危険コンクリートブロック塀等安全対策費補助金の交付を受けたいので、
習志野市補助金等交付規則により、次のとおり関係書類を添えて申請します。

なお、補助金の交付要件確認のため、「市民税、固定資産税及び都市計画税の納付状況」について、調査することに同意します。

1 補助金交付申請額

75,000 円 ((F)を記入)

1,000円未満の端数は、
切り捨ててください。

2 補助金の額の算定

危険コンクリートブロック塀等の除却に要する経費の見積額(A)

(A) 165,000 円 $\times 1/2 =$ (B) 82,000 円

※(B)は1,000円未満の端数を切り捨てた額を記入

除却する危険コンクリートブロック塀等の長さ(C)

(C) 7.5 m $\times 10,000$ 円 = (D) 75,000 円

※(D)は1,000円未満の端数を切り捨てた額を記入

限度額(E): 100,000円

申請額(F): 75,000 円

1,000円未満の端数は、
切り捨ててください。

((B)、(D)又は(E)のいずれか小さい方の額を記入)

3 工事着工予定年月日 令和〇〇年〇〇月〇〇日

4 工事完了予定年月日 令和〇〇年〇〇月〇〇日

(第2面)

5 危険コンクリートブロック塀等の概要

地名地番を記入
してください。

所在地	習志野市鷺沼2丁目〇〇-〇〇			地名地番を記入してください。
所有形態	☐ 単独 ☒ 共有(2 人) ☐ 管理者			
構造	☒ コンクリートブロック造 ☐ 石造 ☐ れんが造 ☐ その他 ()			
高さ	1. 80m	長さ	7. 50m	
築造年代	☐ 年 月築造 ☒ 不明			
面する道路	☒ 建築基準法第42条 1 項 5 号 ☐ その他()			

※所在地には、危険コンクリートブロック塀等が存する土地の地名地番を記入してください。

6 特定施工者

氏 名	(法人にあっては商号又は名称及び代表者の氏名) 株式会社〇〇工務店 代表取締役 藤崎 一郎
所 在 地	習志野市大久保1丁目〇〇-〇〇
許 可 番 号 (登録番号)	☒ 建設業の場合 建設業許可 (千葉県) ☐ 大臣 ☒ 知事 (般 - 29) 第 〇〇〇〇〇 号 (建築 工事業) ☐ 解体工事業の場合 解体工事業登録 千葉県知事 (登-) 第 号

7 添付図書

- (1) 危険コンクリートブロック塀等の安全対策に関する計画書
- (2) 案内図
- (3) 補助対象事業に要する費用の見積書の写し
- (4) 同意書等、所有者間で合意されていることが確認できるもの（管理者が申請する場合や所有者が複数存在する場合）
- (5) その他市長が必要と認める書類

(第3面)

誓 約 欄

- 1 補助対象事業の遂行に伴い発生した廃棄物は、適正に処理を行います。
- 2 補助対象事業は、土地の販売及び賃貸を目的とした整地や建物解体工事を行うものではありません。
- 3 補助対象事業の遂行により、新たな危険が生じることのないよう安全かつ良好な状態に保ちます。
- 4 補助対象事業の遂行後、塀、フェンス等を新たに設置する場合は、建築基準法をはじめとする各種法令を遵守します。
- 5 上記のほか、関係法令等を遵守します。

上記事項を誓約します。

この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

申請者氏名 習志野 太郎



押印してください。

●危険コンクリートブロック塀等の安全対策に関する計画書の作成例(参考様式)

危険コンクリートブロック塀等の安全対策に関する計画書

工事前

工事前の平面図と立面図を図示してください。(寸法は「mm」を基準とし、必ず記載すること。)

平面配置図 縮尺 1:200

高さを記入してください。

立面図 縮尺 1:200

撤去する危険コンクリートブロック塀等の長さを記入してください。(門柱、門扉、フェンスは対象外)

工事後

塀等を、すべて撤去する場合はその旨を明記し、一部撤去又は新たに塀等を築造する場合は計画図を図示してください。

平面配置図 縮尺 1:200

高さを記入してください。

立面図 縮尺 1:200

改修後の塀の長さを記入してください。

使用材料、仕上げ方法を記入してください。

フェンス
○○エクステリア
○○タイプ T-8

コンクリート塀
H=500
仕上げ:なし

●見積書の作成例(参考様式)

【表紙】

宛名は申請者と同一
にしてください。

習志野 太郎 様

下記のとおり見積申し上げます。

御見積金額 ￥〇〇〇, 〇〇〇- (消費税含む)

見積有効期限 令和〇〇年〇〇月〇〇日まで

工 事 名 習志野様邸ブロック塀撤去工事

工事場所 習志野市鷺沼2丁目〇〇-〇〇

撤去を行うコンクリートブロック塀
等の所在地を記載してください。

御 見 積 書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

押印が必要です。

株式会社〇〇工務店

代表取締役 藤 崎 一 朗

〒275-0011

習志野市大久保1丁目〇〇-〇〇

TEL 047-〇〇〇-〇〇〇〇

FAX 047-〇〇〇-〇〇〇〇

印

【内訳明細書】

申請書に記載した撤去する
危険コンクリートブロック塀等
の長さと同じにしてください。

名称・仕様	数量	単位	単価	金額
1 撤去費	〇〇. 〇	m	〇〇, 〇〇〇	〇〇〇, 〇〇〇
2 廃棄物運搬費	1	式		〇〇, 〇〇〇
3 処分費	1	式		〇〇, 〇〇〇
4 仮設費	1	式		〇〇, 〇〇〇
5 諸経費	1	式		〇〇, 〇〇〇
【小計】				〇〇〇, 〇〇〇
消費税				〇〇, 〇〇〇
【合計】				〇〇〇, 〇〇〇

作成する見積書は、補助対象の工事に係る費用のみの見積書を作成してください。補助対象の工事以外の門柱、門扉、フェンス等の撤去工事や塀の新設工事を一緒に行う場合は、見積書を分けてください。

●同意書等、所有者間で合意されていることが確認できるものの作成例(参考様式)

同意書

私は、習志野市危険コンクリート塀等安全対策費補助事業について、
下記のとおり同意します。

撤去を行うコンクリートブロック塀等の
所在地(地名地番)を記載してください。

記

- 1 習志野市鷺沼2丁目〇〇-〇〇に危険コンクリートブロック塀等を
所有しており、その除却について同意します。
- 2 習志野 太郎 氏が当該事業を実施することについて、同意しま
す。

申請者氏名を記載してください。

以 上

令和〇〇年〇〇月〇〇日

押印が必要です。

住所 習志野市鷺沼2丁目〇番〇〇号
氏名 習志野 花子



第3号様式(第10条)

習志野市危険コンクリートブロック塀等安全対策費補助金実績報告書

習志野市長 宛て

令和〇〇年〇〇月〇〇日

住居表示で記入してください。

交付決定通知書の右上に記載されている交付年月日と番号を記入してください。

申請者 住所 習志野市鷺沼2丁目〇番〇〇号
(フリガナ) ナラシノ タロウ
氏 名 習志野 太郎
電話番号 047-〇〇〇-〇〇〇〇

令和〇〇年〇〇月〇〇日付け習志野市指令建指第〇-〇号により習志野市危険コンクリートブロック塀等安全対策費補助金の交付決定の通知を受けた補助対象事業が完了したので習志野市補助金第六付規則により、次のとおり添えて申請します。

契約日を記入してください。
また、交付決定通知日以降の日付かを確認してください。

交付決定通知書に記載されている金額を記入してください。

1	補助金の額	75,000 円
2	着手年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
3	完了年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
4	添付書類	(1) 補助対象事業に係る契約書の写し (2) 補助対象事業の遂行状況の記録及び写真(施工前・施工中・施工後) (3) 補助対象事業の遂行に伴い発生した廃棄物の処分報告書 (4) 補助対象事業に要した費用の請求書の写し (5) 補助対象事業に要した費用の領収書の写し (6) その他市長が必要と認める書類
5	習志野市危険コンクリートブロック塀等安全対策費補助金交付要綱第9条の規定により補助金の受領を委任した額	75,000 円

工事施工者より、産業廃棄物管理票(マニフェスト)の写し又は廃棄物の収集運搬業者や処分業者との処理委託契約書の写し等取得し、添付してください。

代理受領制度を使用する場合、代理受領を行う金額を記入してください。

第4号様式(第11条)

習志野市危険コンクリートブロック塀等安全対策費補助金交付請求書

空欄のままにし、
日付は記入しないでください。

年 月 日

習志野市長 宛て

住居表示で記入してください。

申請者 住所 習志野市鷺沼2丁目〇番〇〇号
(フリガナ) ナラシノ タロウ
氏 名 習志野 太郎
電話番号 047-〇〇〇-〇〇〇〇



押印してください。

習志野市補助金等交付規則により、習志野市危険コンクリートブロック塀等安全対策費補助金

交付決定通知書の右上に記載されている
交付年月日を記入してください。

交付決定通知書の右上に記載されて
いる交付番号を記入してください。

1 指令年月日	令和〇〇年 〇〇月〇〇日	2 指令番号	習志野市指令 建指第〇-〇号
3 交付決定額	交付決定通知書に記載され ている金額を記入してください。		
4 交付確定額	確定通知書に記載されてい る金額を記入してください。		
5 交付請求額			

75,000 円

75,000 円

75,000 円

「4 交付決定額」
(上段)と同じ金額を
記入してください。

6	金融機関名 支店名	津田沼銀行 鷺沼支店	預金区分	①普通・2当座・3貯蓄
	(フリガナ) 口座名義	ナラシノ タロウ ナラシノ タロウ	口座番号	〇〇〇〇〇〇〇〇

6について
補助金の振込先となる口座を記入してください。
記載漏れや間違いがないか確認してください。

※代理受領をされる場合、代理受領者について記入してくだ
さい。(第5号様式 受任者の振込先と同じ)

第5号様式(第11条)

委 任 状

空欄のままにし、
日付は記入しないでください。

年 月 日

習志野市長 宛て

(委任者) 住 所 習志野市鷺沼2丁目〇番〇〇号

氏 名 習志野 太郎



押印してください。

電話番号 047-〇〇〇-〇〇〇〇

私は、習志野市危険コンクリートブロック塀等安全対策費補助金 75,000 円について、下記の者に受領の権限を委任します。

記

委任する金額を記入してください。

(受任者)

住 所

氏 名

電話番号

工事を施工した特定施工者
について記入してください。

振 込 先

金融機関名

本・支店名

預金種別 普通 ・ 当座 ・ 貯蓄

口座番号

(フリガナ)

口座名義